

令和4年第3回(9月)大郷町議会定例会一般質問通告書

目 録

1. 石垣 正博 議員
 - 1) 長期的視野に立った水道事業の運営を

2. 大友 三男 議員
 - 1) 防災対策について
 - 2) 住民バス運行について

3. 若生 寛 議員
 - 1) 企業誘致の考え方を問う
 - 2) 7月豪雨の対応を問う

4. 和賀 直義 議員
 - 1) 7月豪雨の災害について
 - 2) コロナ対応について

5. 千葉 勇治 議員
 - 1) 災害に強いまちづくりについて
 - 2) 令和3年度における公共事業予算総額と入札結果生じた請差金額の活用について
 - 3) 交通安全対策について

6. 吉田 耕大 議員
 - 1) ヤングケアラーの実態調査など対策を
 - 2) 縁の郷指定管理者、株式会社ラトリエの事業計画と新たな取り組みを

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 長期的視野に立った水道事業の運営を</p> <p>日本の水道事業は、高度成長期に多くの施設等が造られ、すでに50年以上を経過している。</p> <p>管路更新等がピーク時を迎えており、全国では水道施設の老朽化を背景にした事故が増えている。反面、各自治体は、水道料金の減少、事業に携わる職員の不足、施設更新、耐震化の遅れなど多くの課題を抱えている。</p> <p>そんな中であって、本町の水道事業の実態はどうなのか。20年・30年後の長期的視野に立った事業の在り方などを検討し、それに沿った計画をしっかりと立案し、目標に向かって進んでいるのかどうか伺う。</p> <p>(1) 本町における水道事業の現況から、果たしてどこまで持続可能と判断し運営を続けて行くつもりなのか、命の次に大事な水を提供している。1日たりとも維持管理を怠る事は出来ない。持続可能にするために老朽化対策が重要となる。町の考えを伺う。</p> <p>(2) 現在の経営状況を前提とした経営計画では、今と同じような住民サービスが出来なくなるものと判断する。ならば、他の水道事業体との事業統合、広域化などを考えるべきではないのか伺う。</p>	<p>一問一答方式</p>

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 防災対策について</p> <p>(1)令和4年7月15日・16日の2日にわたる大雨により、町内各所において21件の床上浸水や床下浸水などの被害が発生した。令和元年10月の東日本台風(台風19号)による水害以後、同じ浸水被害を防止するため、行政として対策を講じてきたと思うが、今回も3年前の東日本台風と同じ家屋の浸水被害が発生したことを、行政としてどのように考えているのか伺う。</p> <p>(2)大雨により今回も各所で道路が冠水し、孤立状態になった地区がある。孤立する前に避難させる必要があったと考えるが、避難指示などの各情報を発信する側の行政として、道路状況や被害状況など、一早い情報の収集をし、町民の生命を守るための正確な情報を伝えることが、大変重要と考える。今回どのような方法で情報を収集し、町民にどのように伝え孤立状況に至ったのか伺う。</p> <p>(3)これまで幾度となく繰り返してきた水害の経験を活かし、自然災害(水害・土砂災害)に対する災害リスク度合(危険度指数)を示し、大郷町防災マップ(ハザードマップ)で示している警戒レベル(危険度)を、これまでより細かく分割するなどの見直しを図り、災害危険地域に住んでいる町民に、避難するタイミングを分かりやすくするため、時間経過による災害リスク度合(危険度指数)を、数字やイラストで地図上に示すなど、大郷町防災マップとは別に、本町独自の災害リスクマップを策定し、町民に示す必要があると考えるが、所見を伺う。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. 住民バス運行について</p> <p>(1)令和4年2月15日の議員全員協議会で、運行見直しに関する会議を9月に開催すると説明があったが、見直しにあたり町の基本的な考えを伺う。</p> <p>(2)令和3年5月に行った住民バスのアンケート調査の中で、特に大郷町の将来を担う10代の意見や親の意見「土日祝日運行・運行時間・運行経路」を、住民バス運行にどのように反映させるのか伺う。</p>	

<p>(3)住民バスアンケート調査の中の苦情について、どのように改善したのか。及び令和4年4月から現在までの苦情の状況について、苦情が何件あり、苦情改善をどのように取り計らったのか伺う。</p>	
---	--

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 企業誘致の考え方を問う</p> <p>企業誘致に対し、「土地は紹介するが、自分で造成して下さい」との方針でこれまで進んで来た。その結果、企業は来ず、働く場所を求め、若者は町外へ出て行った。過疎指定も受けた。今後は、上場企業の誘致を積極的に進めるべきでは。</p> <p>それらを踏まえ、次の点を問う。</p> <p>(1) 5年間の進出企業の件数と事業形態は</p> <p>(2) 企業誘致の基本的な考え方は</p> <p>(3) 大松沢に進出計画のある養豚場、バイオガス発電施設の現状は</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. 7月豪雨の対応を問う</p> <p>令和元年台風 19 号被災から、3年経過しない中、再度浸水被害を受けた方が多数いらっしゃる。「お見舞い申し上げます」では済まないのではないのだろうか。3年前と同じ箇所で、同じような被害が発生している。そこで次の点を問う。</p> <p>(1) 県道、町道の通行止めと解除の周知は適切だったか。</p> <p>(2) 避難場所開設に際し、指定場所は適切だったか。</p> <p>(3) 鶴田川、新堀川の浚渫計画の前倒しが必要では。</p>	

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 7月豪雨の災害について</p> <p>(1) 道路・河川、農地・農業用施設、公共施設等に多大な被害が発生した。最近の自然災害を考えると、現状への復旧だけでは同じ被害が予想される。どのような復旧を目指すのか。また、復旧時期の見通しについて伺う。</p> <p>(2) 農地・農業用施設の災害復旧費の国費、町費、受益者分担金、申請などの周知はどのように実施するのか。</p> <p>(3) けやき坂住宅地の方は道路冠水の為、大変な状況だった。今後の豪雨等の対応・対策の検討状況は。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. コロナ対応について</p> <p>コロナ感染が高止まりしている、以下伺う。</p> <p>(1) 3回目、4回目のワクチン接種状況は。</p> <p>(2) 同居家族が感染し、濃厚接触者がいる世帯は買い物などに外出できない。待機期間に見合った食料品等の配布支援を実施すべきだ。</p> <p>(3) 町ホームページにコールセンター番号は載っているが、発熱時、どうすればよいか不安の方が多い。発熱時の具体的対応、再度の感染予防を周知すべきだ。</p>	

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 災害に強いまちづくりについて</p> <p>(1)東日本大震災の復旧・復興作業に伴い本町の山林開発による山砂採取が進んだ結果、降雨による一旦水被害が加速度的に増していると考えますが、町としてどのように分析されているのか伺う。</p> <p>(2)山砂採取するための開発認可する際、町側として「目的達成後速やかに植林をして山としての機能回復を図る」ことが条件だったと認識している。その指導の徹底も含め、本町のSDGsの取り組み計画について伺う。</p> <p>(3)今回の豪雨災害の教訓を今後の防災対策にどのように活かしていく考えか伺う。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. 令和3年度における公共事業予算総額と入札結果生じた請差金額の活用について</p> <p>(1)令和3年度における公共事業並びに業務関係事業のそれぞれの件数並びに予算総額と入札に伴い生じた請差金額について伺う。</p> <p>(2)請差で生じた財源の活用に係る町当局の考え方について伺う。</p> <p>(3)請差が生じたことに伴い新たに取組んだ事業内容について伺う。</p>	
<p>3. 交通安全対策について</p> <p>(1)先日町内山崎地区内で発生した車両同士による交通事故は、一時停止の標識のない町道で停止を怠った結果招いたものと考えられる。町道等において交通事故につながりかねない箇所の点検を速やかに調査し、町民の安全・安心が確保できる対応をすべきと考えるが所見を伺う。</p>	

通 告 要 旨	備 考
<p>1. ヤングケアラーの実態調査など対策を</p> <p>ヤングケアラーとは、家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている 18 歳未満の子どもをいう。その子どもの年齢相応の役割や、責任よりも負担が大き過ぎる場合、同年代から孤立し、勉強、クラブ活動、就職活動など、その年代ですべき経験が不足することで心身の発達や人間関係、社会生活、家庭生活、人生設計等に大きな影響を及ぼすと言われている。国ではこのことを重く捉え、孤立しがちなヤングケアラーを早期に発見して支援につなぐ取組が予算化されることになった。以下伺う。</p> <p>(1)本町における、ヤングケアラーの実態調査をしているのか伺う。</p> <p>(2)ヤングケアラーに対する学校の認知度及び本人や保護者などにその認識を促すための普及啓発の対策について伺う。</p> <p>(3)ヤングケアラーに対する課題解決のための取り組みの考えを伺う。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. 縁の郷指定管理者、株式会社ラトリエの事業計画と新たな取り組みを</p> <p>指定管理をしていただいて、1年が過ぎ株式会社ラトリエの運営状況や経営状況はどのようになっているのか。また、町内外へのアピールと地域貢献についてどのように進んでいるのか伺う。</p> <p>(1)運営開始から1年が経ち、2021年度収支について計画どおり進んでいるのか。また、本年度の収支見込みは問題なく進んでいるのか伺う。</p> <p>(2)クラインガルデン（農泊）事業だけではなく、キャンプなど提案できないのか伺う。</p> <p>(3)町内外へのPR・町の発展・地域貢献のための事業や今後の計画について伺う。</p>	